

# 令和7年度(2025年度) 第1回八王子市スポーツ推進審議会 次第

日時：令和7年(2025年) 12月23日(火) 18:30～20:30

場所：八王子市役所7階702会議室

## 1 開会

- (1) 自己紹介(行政・各委員)
- (2) 会長・副会長の選出

## 2 報告

- (1) 第2期八王子市スポーツ推進計画に基づく取組について

## 3 議題

- (2) 八王子市のプールの在り方について

## 4 事務連絡

## 5 閉会

施策の方向性	今後の施策目標	具体的な取組	参加延人数（回数）	所管
子どものスポーツ推進	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します	ジュニア体操やキッズスクール等、各体育館等においてジュニア向け事業を種目ごと複数回実施	8,912人/1,034回（R6）	スポーツ施設管理課
		本市にゆかりのある「中村美里」選手・「高市未来」選手を講師に起用した「二人のオリンピックとのたみ ふれあい教室」を開催（R7）	127人	スポーツ振興課
		ジュニア育成ソフトテニス教室等、地域団体が実施する子ども向けスポーツプログラムを後援するなど、開催を支援	-	スポーツ振興課
	子どもが自分で考え、判断し、行動していく「生きる力」を育むことができるよう、関係機関や団体とともに屋外での遊びや体験機会の充実を図ります	はちビバ（子ども・若者育成支援センター）において子どもたちが自由にボール遊び等のスポーツを行える環境を整えとともに、月ごとに卓球やサッカー等のイベントも実施	-	青少年若者課
		川遊びの楽しさを体験する事業、緑地や里山をフィールドとする体験活動を実施	(R6) 川1401人/23回、緑589人/7回 (R7) 川1380人/22回、緑433人/7回	環境保全課 エコひろば
	競技力向上、スポーツへの興味・関心を高める取組を指定管理者や各団体等と連携して実施します	ミズノスポーツ教室等、指定管理者により指導レベルの高い教室を開催	-	スポーツ施設管理課
		各団体が実施するのスポーツ教室等を後援	後援名義件数82件	スポーツ振興課
	友達や仲間、親子で楽しみながらスポーツ体験ができる機会を創出します	ネオテニス教室を開催	129人/6回	スポーツ振興課
		「親子スポーツ教室」「親子でフラダンス」「わくわくドキドキ！親子deスポーツ体験会」「親子で楽しむびんぼんキッズフェスタ」「ペアで仲良く体ほぐし運動」等親子でスポーツを楽しむイベント等を後援	-	スポーツ振興課
	市HPのイベントカレンダーや児童・生徒の学習用端末等を活用し、子どもたちが自身でスポーツ活動を選択できるよう取り組みます	メガロス八王子との連携事業「親子で楽しく体を動かそう！スタジオプログラム」「こども水泳教室 水慣れ」「こども・親子テニス教室」を開催	38人/4回	スポーツ振興課
八王子市教育情報プラットフォームでスポーツ情報を含む様々なイベント情報を発信		-	教育指導課 生涯学習政策課	
部活動改革による子どもの選択肢の拡大	「八王子市の部活動改革」が目指す方向性に基づき、市内のスポーツ団体等と学校が連携し、学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施します	子どもたちが参加可能な地域団体調査・公開	108団体（R6）	スポーツ振興課
		「ミズノ中学生のバレーボール教室」や「中学生対象卓球スクール」「バスケットボールスクール」等指定管理者や地域団体と連携し、多様な事業を実施	-	スポーツ施設管理課
		八王子市教育情報プラットフォームでスポーツ情報を含む様々なイベント情報を発信	-	教育指導課 生涯学習政策課
	引き続き部活動指導員や部活動指導補助員を任用し、学校部活動における子どもたちの活動の充実を図ります	部活動指導員を配置	16人/13校（R6）	学務課
		部活動指導補助員を配置	191人/37校（R6）	学務課
地域で活動した子どもたちがやがて指導者となって技術や知識を還元する「学びの循環」を目指します	スポーツ協会と連携し、各学校に指導者を派遣するスキームを構築	-	スポーツ振興課	
成人のスポーツ推進	スポーツ活動の成果を試す機会を提供するため、各種スポーツ大会を開催します	市民スポーツ大会をスポーツ協会と連携して開催（R6）	14,548人/31種目	スポーツ振興課
		市民スポーツ・レクリエーション大会をレクリエーション協会と連携して開催（R6）	2,499人/23種目	スポーツ振興課
		市民レクリエーション大会をレクリエーション協会と連携して開催（R6）	500人/10団体	スポーツ振興課
		戸吹スポーツ公園において、指定管理者による大会を開催	1603人/52回	戸吹スポーツ公園
		市長杯ネオテニス大会や市民インディアカ大会等、スポーツ団体との共催により大会を運営	1430人/14日	スポーツ振興課
	体育館などにおいて、気軽に参加できるスポーツプログラムの充実化を図ります	働き盛り世代向け健康体操教室を実施	211人/25回（R6）	スポーツ振興課
		各体育館でレベル別にフィットネス等のスポーツプログラムを実施	70,189人/1,433回 富士森体育館 24,523/533回（R6） 甲の原体育館 35,391人/818回（R6） エスフォルタアリーナ八王子 10,275/82回 各体育館R7も継続して実施中	スポーツ施設管理課
		夜間に大人を対象としたサッカー・フットサル・バレーボール等各種競技教室を開催	エスフォルタアリーナ八王子市 263人/34回（R6） R7も継続して実施中	スポーツ施設管理課
	ウォーキングやサイクリングなど、通勤時等に気軽にできるスポーツ活動を普及していきます	ヘルシーウォーキングのほか、八王子ネイチャープログラムや文化財見て歩き等、ウォーキングのみを目的としない事業により、スポーツ活動を促進	742人（ヘルシーウォーキング） 224人/18回（ハイキングガイドツアー） 128人/7回（自然観察会） 123人/3回（令和6年度）（文化財見て歩き）	観光コンベンション協会 文化財課
		八王子おさんぽマップ「はちあるき」を作成	-	健康づくり推進課
チャリー磯崎のチャリフェス」の開催など自転車利用マナーの向上とともに自転車活動を推進する事業を実施		-	交通事業課	
動画配信などを活用し、自宅等で気軽にできるスポーツ活動を推進します	市民いきいきリフレッシュ体操の動画版を配信	-	スポーツ振興課	
	甲の原体育館のHPで生活習慣病予防体操の動画を掲載しているほか、SNSにおいてダンス動画を配信	-	スポーツ施設管理課	

	親子で楽しみながらスポーツ体験ができる機会を創出します	ネオテニス教室 エスフォルタアリーナ八王子における親子スポーツ教室や戸吹スポーツ公園におけるサニースクールなど、親子で一緒に楽しめるスポーツプログラムを実施 メガロス八王子との連携事業により親子で参加できるスポーツプログラムやテニス教室を開催	129人/6回 174人/39回	スポーツ振興課 スポーツ施設管理課	
高齢者のスポーツ推進	体育館などにおいて、ヨガや健康体操など、健康づくりに繋がるプログラムの充実を図ります	市民いきいきリフレッシュ体操を各市民センターで実施	令和6年度 2,585人/127回	スポーツ振興課	
		団体向けやさしいフィットネスを実施	令和6年度 942人/113回	スポーツ振興課	
		各体育館においてシニア対象エクササイズや筋力講座等を実施	36,786人/707回 富士森体育館 24,523/533回 (R6) 甲の原体育館 1,988人/92回 (R6) エスフォルタアリーナ八王子 10,275/82回 各体育館R7も継続して実施中	スポーツ施設管理課	
		市内の整骨院で柔道整復師による介護予防につながる体操「元気はつらつトレーニング教室」を開催	1482人/17施設 (R6年度)	高齢者いきいき課	
		福祉センター、生涯学習センターにおいて元気アップ教室やシニア健康レクリエーション教室を開催	222人/10回 (R6年度) 264人/10回 (R7年度)	各福祉センター	
	ウォーキングや体操などの軽運動を推奨し、健康寿命の延伸に繋がります	ヘルシーウォーキングのほか、八王子ネイチャープログラムや文化財見て歩き等のウォーキングをイベントを開催 (R6)	742人 (ヘルシーウォーキング) 224人/18回 (ハイキングガイドツアー) 128人/7回 (自然観察会) 123人/3回 (令和6年度) (文化財見て歩き)		観光コンベンション協会 文化財課
		ハッチーウォークでウォーキングを普及	-		健康づくり推進課
		オンライン体操教室「SOFT (ソフト)」を推奨	-		高齢者いきいき課
		からだスッキリ☆みんなニッコリ!八王子けんこう体操をホームページで公開するとともにDVDの貸し出しを実施	-		高齢者いきいき課
		スマートフォンを活用した健康ポイント制度「てくポ」で毎日の歩数を計測	登録者12,765人 (R6)		高齢者いきいき課
スポーツを通じた仲間づくりや喜び・生きがいに繋がるような取組を実施します	健康体操やウォーキングなどスポーツを通じた仲間づくり、生きがいづくりに繋げるため、高齢者サロンの活動を支援	163団体 (R6)		高齢者いきいき課	
共生社会の実現に向けたスポーツ推進	スポーツを通じ、国際理解、障害者理解の促進につながる取組を実施します	デフリンピックを契機に光刺激スタートシステムを購入し、デフアスリートが活躍できる環境を整備 各地域団体の事業と連携し、光刺激スタートシステムの体験会等、デフリンピックや手話の普及活動を実施 (R6-R7)	- 1,328人/5回	スポーツ施設管理課 スポーツ振興課	
	障害のある人とない人とのスポーツを通じた交流機会を創出します	市民ポッチャ大会を開催	123人	スポーツ振興課	
		ふれあい運動会を開催	中止 (R6)	障害者福祉課	
	インクルーシブスポーツの普及と指導者の育成を図ります	スポーツ・レクリエーション教室、バドミントン教室等、都立特別支援学校活用促進事業を周知	-		スポーツ振興課
		ユニバーサル駅伝を後援したほか、参加者を対象に光刺激スタートシステムの体験会を行った	1,328人/5回		スポーツ振興課
		スポーツ推進委員によりポッチャの派遣指導を実施	910人/17回 (R6)		スポーツ振興課
		ポッチャ用具の無料貸し出しを実施	45件		スポーツ振興課
	年齢、障害の有無といった多様性を受入れ合い、だれもがスポーツを楽しめるよう取り組みます	東京多摩未来メッセで開催されたeスポーツイベントの後援	1,500人		スポーツ振興課
地域団体によるMinecraftで1日eスポーツ体験教室を後援		100人		スポーツ振興課	
	学生が中心となり初開催を目指す八王子eスポーツフェスタの後援	-		スポーツ振興課	

施策の方向性	今後の施策目標	具体的な取組	参加延人数（回数）	所管	
スポーツ施設の適切場整備・維持管理	スポーツ個別施設管理計画・中長期保全計画に基づき、適切に施設を維持管理します	北野公園野球場及び梶田運動場の夜間照明設備のLED化改修工事 富士森公園野球場及び滝ガ原運動場や球場のグラウンド整備	-	スポーツ施設管理課	
	より効果的な運用のため、民間のノウハウを活用した運営やネーミングライツの募集を行います	富士森公園野球場・上柚木公園陸上競技場・富士森公園陸上競技場・上柚木公園野球場・戸吹スポーツ公園サッカー一件ラグビー場において施設命名権料を徴収 クラウドファンディングによりスリーボンドスタジアム八王子（富士森公園野球場）のスコアボードを改修	-	スポーツ施設管理課	
	大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得ながら、スポーツをする場を確保していきます	工学院大学・東京工業高等専門学校・帝京大学・創価大学・拓殖大学・東京工科大学・東京都立大学・山野美容芸術短期大学が一般開放（いずれも団体）を実施	-	-	スポーツ振興課
		東京都の事業により市内の都立学校及び特別支援学校体育施設の一般開放を開始 各大学が実施する大学及び学生の自主事業を後援（帝京マルチスポーツカーニバル等）	-	-	スポーツ振興課
		メガロス八王子との連携により、テニス・水泳教室等各種スポーツプログラムを実施	39人/4回	スポーツ振興課	
	その他	公園の遊具、健康遊具などを適切に管理・紹介	-	-	公園課
		ホームページにおいて、ボール遊びができる公園や健康遊具がある公園、ウォーキングコースを設定している公園などをまとめ、周知	-	-	公園課
学校体育施設の有効活用	学校体育施設を有効的に活用できるよう、体育館・校庭等を継続して地域へ開放していきます	市立小中・義務教育学校の施設開放を実施（R6）	小学校：27,228回、612,297人 中学校：9,075回、152,661人 義務教育学校：953回、19,028人	学校施設課	
		校庭の夜間開放を実施	13,307人/10校（R6）	スポーツ施設管理課	
		学校プールの一般開放を実施	4,424人/6校（R6） 3,558人/6校（R7）	スポーツ施設管理課	
	活用されていない学校体育施設をシステム予約化するなど、最大限活用できるルール等を検討します	学校体育館の利用に際し、暗証番号型スマートロックを設置。恩方中学校において試行運転を開始。	-	学校施設課	
	効果的且つ持続可能な運用に向け、体育館・校庭の管理運営の外部化、利用料金設定などを検討します	市民の学校施設利用に際し、空調設備の利用に掛かる電気・ガス代の実費相当額の徴収を開始（R7） 校庭の夜間利用に際し、電気代実費相当分を徴収	-	学校施設課 スポーツ施設管理課	

基本施策3 スポーツによる地域の活性化・魅力発信

施策の方向性	今後の施策目標	令和6年度&令和7年度の取組	参加延人数(回数)	所管
総合型地域スポーツクラブの支援	子どもたちを中心とした地域住民がクラブに参画し、クラブの担い手や交流機会が増加することで、持続可能なクラブ活動に繋がるよう、各クラブと協働で取組や仕組みづくりを進めます	スポーツ振興のほか、地域交流の促進、クラブの活性化を目的に、地区運動会を開催するスポーツクラブに対し、補助金を交付し、活動を支援(R6) 総合型地域スポーツクラブと連携し、ヘルシーウォーキングを実施(4団体と実行委員会を組織)(R6)	8,298人/14団体 742人	スポーツ振興課
	部活動改革の一環として、各クラブと学校が連携し、子どもたちの活動機会の確保とクラブの活性化を図ります	総合型地域スポーツクラブとの連携により、子どもたちが参加可能な団体をホームページや、教育情報プラットフォームへ掲載(R6-R7)	10団体	スポーツ振興課
	地区運動会と学校運動会の連携を促進するなど、子どもたちに地域の魅力を伝える取組を推進します	中野北小学校と中野地区総合型地域スポーツクラブが共同で運動会を実施(R7) 恩方住民大運動会に恩方中学校の2年生が郷土教育活動の一貫として参加(R7)	集計中	スポーツ振興課 教育指導課
スポーツ関係団体の支援と連携	スポーツ関係団体と連携し、各種大会や教室等のスポーツイベントを開催します	市民スポーツ大会をスポーツ協会と連携して開催(R6) 市民スポーツ・レクリエーション大会をレクリエーション協会と連携して開催(R6) 市民レクリエーション大会をレクリエーション協会と連携して開催(R6) 地域団体が行うスポーツイベントに対し、後援名義を承認(R6)	14,548人/31種目 2,499人/23種目 500人/10団体 82件	スポーツ振興課 スポーツ振興課 スポーツ振興課 スポーツ振興課
	東京八王子ビートレインズや本市で活動するアスリート、本市ゆかりのアスリートの活動を応援します	東京八王子ビートレインズのホームゲーム会場確保及びホームゲームの試合日程等の周知を支援(R6-R7) 市長表敬訪問を通じ、各地域団体や個人の功績、活動を周知(R6) パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する本市ゆかりの選手応援の取組として、広報掲載や横断幕の掲出等を実施(R6)	- 35件 -	スポーツ振興課 スポーツ振興課 -
	東京都による「東京育ちのアスリート応援事業」等を活用し、アスリートが自身の技術や経験を活かせる機会を創出するとともに、子どもたちの夢や目標に繋がる取組を推進します	2025健康フェスタ・食育フェスタにおいて、プロボクサー佐々木尽選手の公開練習をえきまえテラスにて実施(R7) パリ2024オリンピック競技大会に出場した「高市未来」選手に対し、市民栄誉賞を授与(R6) 本市にゆかりのある「中村美里」選手・「高市未来」選手を講師に起用した「二人のオリンピックとのたたみふれあい教室」を開催(R7) 本市にゆかりのある東京育ちのアスリートとして、新たに5名を推薦(現在14名登録)	- 127人 -	健康政策課 スポーツ振興課 スポーツ振興課
	多くの市民が地域でスポーツ活動が実施できるよう、様々な既存団体と受入れ体制の整備を進めます	プロボクサー佐々木尽選手が母校を訪問し、子どもたちから世界に挑戦する選手へ応援メッセージを伝えるなど、交流を実施(R7)選手にゆかりのある給食の提供や、子どもたちへのメッセージを掲載した食育教材を通じて、食事の大切さを伝え、食への興味を持たせた(R6,R7)	-	学校給食課
		市民からの要望に対し、スポーツ協会、レクリエーション協会等と連携し、活動場所の紹介や入会可能な団体の紹介等を行った	-	スポーツ振興課
		スポーツ推進委員実技研修(種目・種目・種目) ニュースポーツ研修会や第6ブロック研修会へ参加 健康づくりサポーター養成講座及びフォロー講座を実施(R6)	延171人/6回 32人/4回 -	スポーツ振興課 スポーツ振興課 健康づくり推進課
		ホームページ情報広場で講師・指導者情報のほか、サークル・団体情報も掲載し、市民活動のきっかけ作りを行った(R6) 住民の方と一緒に健康づくり活動を行う「健康づくりサポーター」を募集(R6)	259団体(サークル・団体)/117人(講師・指導者) サポーター養成人数193名	学習支援課 健康づくり推進課
地域スポーツを支える人材の確保・育成	全関東八王子夢街道駅伝競走大会など、ボランティアとして活動できる機会を提供します	体操JAPANOPEN、ブラインドサッカー体験会、市民ポッチャ大会で学生ボランティアを募集し、活動できる機会を創出した(R7) 全関東八王子夢街道駅伝競走大会で一般ボランティアを募集し、活動できる機会を創出した(R6)	76人/7大学 1,332人	スポーツ振興課 スポーツ振興課
	本市で開催される大規模スポーツ大会等を誘致、支援します	大相撲八王子場所を誘致・支援(R7) 体操JAPANOPENを誘致・支援(R7) 全関東八王子夢街道駅伝競走大会の魅力向上と中心市街地の活性化等を目的に、大会の開閉会式を東京多摩未来メッセで行うとともに、「らんぱく(飲食ブースやステージイベント等)」を実施(R7) 選手控え室やアップ会場、夜間照明等、上柚木陸上競技場で開催される八王子ロングディスタンスの開催を支援	来場者5,500人 来場者3,542人 -	スポーツ振興課 スポーツ振興課 スポーツ振興課
	大会を通じ、市民の方が積極的に関われる機会を創出できるよう、主催者と調整していきます	体操JAPANOPENにおいて、市内の大学からボランティアを募集(R7) 「らんぱく」において多くの事業者によるブース出展を行うほか、地域団体によるステージイベント、市民がボランティアとして関わる機会の創出等を行う。	約18万回再生(動画) 64人/5大学 -	スポーツ振興課 スポーツ振興課 -
スポーツMICEの推進	スポーツMICEに関する情報発信を積極的に行います	観光コンベンション協会のHP等においてイベントの規模を問わず、情報を積極的に発信	-	観光コンベンション協会
	選手の後援団体等と連携し、パブリックビューイングなど、大規模スポーツ大会を応援、観る機会を創出します	体操JAPANOPENにおいて主催団体と連携し、市民無料招待を実施(R7) パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する本市ゆかりの選手を応援する取組として、横断幕の掲出や広報・HP等での周知などを行い、市民が大会を観るきっかけづくりを行った。 東京八王子ビートレインズのホームゲーム情報等を周知	85人(当選者100人のうち85人来場) - -	スポーツ振興課 スポーツ振興課 スポーツ振興課
	市が行うイベント情報等のほか、各団体が行うスポーツイベント情報や会員募集情報などを発信します	広報ひろばにおいて地域団体の講座・催しや会員募集情報を掲載 Instagramを活用し指定管理者により各スポーツ活動の様子を配信 ホームページ情報広場においてサークル・団体情報を掲載し、地域団体の活動情報を継続して紹介	- - 5,520件(サークル・団体)/748件(講師・指導者)令和6年度アクセス件数	スポーツ振興課 スポーツ振興課 学習支援課
スポーツ情報の収集・発信	広報はちおうじや市のHPに加え、SNSによる情報発信や、記者クラブ等と連携した情報発信を図ります	新たな取組や表敬訪問等についてはプレスリリースを行い、市の媒体以外も活用し、広く周知活動を行った。	-	スポーツ振興課
	情報発信にあたっては、事業の対象や規模等に応じて適切な情報媒体を選定していきます	高齢者向けの事業についてはテクポ、児童・生徒向けの事業は教育情報プラットフォームに掲載するなど、適切な媒体を選定し発信した。	-	スポーツ振興課
	情報通信技術(ICT)に不慣れな方にも配慮した情報発信を行います	情報機器の操作に不慣れな方のため、事業の実施に当たってはチラシを作成したほか、申込みをWEBに限定しないなどの配慮を行った。	-	スポーツ振興課

本市の特性を活かしたアウトドアスポーツの振興	本市の自然環境や屋外運動施設を活用し、アウトドアスポーツの振興を図ります	戸吹スケートパークにおいて東京都自転車競技連盟主催の「東京都選手権BMXパーク八王子プラネット大会」が初開催	24名エントリー	戸吹スポーツ公園
		戸吹スケートパークにおいて、4歳以上を対象としたスケートボードスクールを開催	71人/6回	戸吹スポーツ公園
		市民スポーツ・レクリエーション大会において親子デイキャンプを実施	65人 (R6)	スポーツ振興課
	アウトドアスポーツを広く捉え、ウォーキングやサイクリングスポーツ等の屋外スポーツ・レクリエーション活動を推進します	自転車講座や体験乗車など、自転車のことを楽しく学べる「チャーリー磯崎のチャリフェス IN 東浅川交通公園」を開催	80人 (雨天のため自転車講座 (90人参加予定) は中止)	交通事業課
		「上川の里」で自然体験を楽しもうなど、各種自然体験活動を実施	(R6)267人/14回	エコひろば
		戸吹スポーツ公園において「公園で早春の自然&生き物探し」等の自然体験教室を実施	38人/9回	戸吹スポーツ公園
	自然の起伏を活用したトレイルランニングや、キャンプ、アクアスロンなどのアウトドアスポーツを推進します	TOKYO八峰マウンテントレイルのコース等を見直し、R7年度に「八王子陣馬トレイル」としてリニューアル実施	R6はコース実査のため開催なし	スポーツ振興課
		小仏城山や高尾山をコースとするハイキングガイドツアー「八王子ネイチャープログラム」を実施	224人/18回 (ハイキングガイドツアー) 128人/7回 (自然観察会)	観光コンベンション協会
		八王子の山を楽しむ～初級登山入門～を開催し、登山におけるマナーやルール啓発を実施	36人 (R6)	学習政策課
	地域団体や民間事業者などのアイデアや取組を活用するなど、様々な視点から取組を推進します	ホームページで登山ルールを周知するとともに、市内の山々のハイキングコースや見どころを紹介	-	観光課
	特になし	-	スポーツ振興課	

## 二人のオリンピックによるたたみふれあい教室の実施結果について（報告）

## 1 事業概要

〔日程〕 令和7年(2025年)11月15日(土)13:00～16:45

〔会場〕 富士森体育館 第3・4競技場

〔主催〕 八王子市教育委員会・公益財団法人全日本柔道連盟（運営協力：八王子市柔道連盟）

〔内容〕 本市出身のメダリストである中村美里氏、高市未来氏を講師として招き、市内在住・在園・在学の児童・生徒を対象に3部制の教室を開催

・第1部 親子でたたみ運動体験(ACP)と転び方教室（対象者：未就学児）

・第2部 小学生のたたみ運動体験(ACP)と転び方教室(対象者：小学生)

・第3部 小・中学生の柔道教室(対象者：小・中学生 ※柔道経験者)

〔参加者〕 90名(参加児童・生徒 第1部 37名、第2部 23名、第3部 30名)

〔講師〕 ・中村 美里さん(東浅川小学校卒業)

北京オリンピック 柔道女子 52kg級 銅メダル獲得(2008年)

リオデジャネイロオリンピック 柔道女子 52kg級 銅メダル獲得(2016年)

八王子市民栄誉章を受章(2016年)

・高市 未来さん(上壱分方小学校卒業)

東京オリンピック 柔道混合団体 銀メダル獲得(2021年)

パリオリンピック 柔道混合団体 銀メダル獲得(2024年)

八王子市民栄誉章 受賞(2024年)



## 2 教室の実施内容

- ・全日本柔道連盟講師による柔道の動きをベースとした運動及び転び方指導
- ・メダリストによる技の披露、柔道の技の指導、講話、質疑応答
- ・オリンピックメダルを触る機会、メダリストとの写真撮影・交流の機会の提供
- ・柔道着の着用体験



## 3 参加者の感想（アンケートの一部抜粋）

満足度：100%

- ・オリンピックと触れ合う貴重な体験をさせていただきました。親子の触れ合いも充実したものでした。
- ・柔道だけではなく、様々なスポーツを通して子ども達に興味を持ってもらえたら嬉しいです。
- ・こうして親子で身体を動かして遊ぶイベントや教室を今後も開催して下さると嬉しいです。

# 八王子市初のクラウドファンディングで目標額達成！ ～スリーボンドスタジアム八王子スコアボード改修プロジェクト～

八王子市で初の試みとして、7月1日（火）から9月28日（日）まで、『未来へつなぐ！スリーボンドスタジアム八王子スコアボード改修プロジェクト』と称し、クラウドファンディングを実施しました。

結果、多くの皆様から御支援を賜り、目標額の1,000万円を達成することができました。

未来のスポーツ環境整備のため、ふるさと納税の仕組みを活用したこのクラウドファンディングでいただいた寄附金は、スリーボンドスタジアム八王子の既存の磁気反転式スコアボードを視認性に優れたフルカラーLEDによる全画面ディスプレイ表示方式に改修するための費用として活用します。

## 1 プロジェクト名

『未来へつなぐ！スリーボンドスタジアム八王子スコアボード改修プロジェクト』

## 2 募集期間

令和7年（2025年）7月 1日（火） 午前10時から

令和7年（2025年）9月28日（日） 午後11時59分まで

## 3 総事業費及び目標金額

(1) 総事業費 1億6,830万円（契約金額）

(2) 目標金額 1,000万円（クラウドファンディングによる）

## 4 クラウドファンディングの結果

寄附者数 435名（市内323名、市外112名）

寄附金額 12,557,901円

## 5 目標達成に向けた主な取組内容

- ①熱意を届ける積極的な周知活動・情報発信として、XやHPなどのデジタル媒体をはじめ、チラシやポスターなどのアナログ媒体も活用しました。また、7月の高校野球大会で、西東京大会の各試合会場にてチラシ配布を行いました。
- ②寄附額10,000円以上の希望者に、寄附特典として記念銘板への寄附者ご芳名掲載特典を設定しました。

## 6 今後の予定

・しゅん工 令和8年 3月（予定）



## 東京 2025 デフリンピックに向けた本市の取組について

## 1 大会概要

名称：第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025（東京 2025 デフリンピック）

主催：国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）

開催日程：2025 年 11 月 15 日（土）から 26 日（水）まで

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場ほか

競技：全 21 競技

出場者：70～80 か国・地域から、約 3,000 人の選手が出場

出場資格：聞こえる一番小さな音が 55dB（デシベル）を超えている

デフアスリート各国のデフスポーツ協会に登録している人が対象

※dBは聴力を表し、数字が大きいほど聞こえにくい

※55dB は車の騒音が聞こえない程度

大会ビジョン

- 1 デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぐ
- 2 世界に、そして未来につながる大会へ
- 3 “誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現



## 2 本市の取組

## (1) 光刺激スタート発信装置の導入



スタート発信装置からのスタート信号と連動し、LEDの発光色を変化させることで、競技者へスタートタイミングを合図



上と側面に付いたランプが赤⇒黄⇒緑と順に光る

## (2) 機運醸成の取組（令和7年度）



・南大沢アウトレット、はちおうじダッシュ、いちよう祭り等のイベントで体験会を行うとともに、大会の周知活動を実施 1,328人/5回

## 体操 JAPAN OPEN 2025 の実施結果について（報告）

## 1 大会概要

日程：令和7年（2025年）9月6日（土）・7日（日）

会場：エスフォルタアリーナ八王子

主催：一般社団法人全日本体操競技連盟

来場者数：3,542名（2日間）

## 《詳細》

(1) 9月6日（土）

大会名：第58回全日本シニア体操競技選手権大会

来場者数：1961名

(2) 9月7日（日）

大会名：第3回男子体操種目別メダリスト選手権大会

来場者数：1581名（うちキッズチャレンジ体操教室 189名）



## 2 本市の主な取り組み

## (1) 市民無料招待

広報はちおうじと市ホームページで募集した市民の方を9月7日（日）のメダリスト選手権大会へ無料で100名招待。延べ897組の方からお申込みいただき、85名の方が観戦。

## (2) 無料体操教室

広報はちおうじと市ホームページで募集した市内の小中学校3年生以下の子供たちを、9月7日（日）のメダリスト選手権大会の後に開催する無料体操教室に招待。参加者については、市内キッズ100名（市で募集）と塚原キッズ100名（体操連盟側で招集）で構成。市内キッズについては159名の方からお申込みいただき、89名の方が参加。塚原キッズとあわせて189名が参加した。2004年アテネ五輪団体金メダリストの塚原直也選手をはじめとしたオリンピック選手が指導を行った。



## (3) 医療協力

東京医科大学八王子医療センターとの包括連携協定に基づき、会場内に医療スタッフを配置し、万全な医療体制を構築した。

## (4) 学生ボランティアの募集

広報はちおうじ等で募集した学生ボランティアの方々に3日（水）・6日（土）・7日（日）の3日間について、大会運営をご協力いただいた。申込者数：69名

# 八王子市プールの現状と あり方の検討について

2025年12月23日(火)  
スポーツ推進審議会

# 1 内容

## 1. 現状

### 補足1

#### ■ 八王子市のプール施設の現状及び施設数

公共プール:5施設(屋外・屋内)

学校プール:小中学校107校、大学・高校にも設置

民間プール:9施設

#### ■ 課題

公共・学校プールの老朽化が進行

(大塚公園プールは令和3年(2021年)から休止中)

屋外プールは猛暑による熱中症リスクも懸念

#### ■ 方針・基準

公共プール:方針未決定(屋外・屋内とも)

学校プール:学校外プール切替基準【短期的】

市立小・中学校プール利用に係る今後の方向性【短期的】

#### ■ 市の計画との関連

平成29年(2017年)「公共施設等総合管理計画」では、屋外プールは存廃も含めて検討対象とし、民間施設との連携による効率的運営を推進  
令和8年(2026年)度に公共施設マネジメントの見直し予定

## 2. 内容

公共プール(屋外・屋内)と学校プールのあり方について、スポーツ推進審議会からご意見を収集する。

### 補足2

#### (1)屋外プールのあり方

環境の変化、夏期限定、老朽化などを考慮して維持管理を行いつつ、大規模改修が必要となった際は廃止も含めて、存廃のあり方を検討する。

また、現在休止中の大塚公園プールはレジャー機能の高いプールであり、近隣に大きなレジャー目的のプールもあることから、存廃のあり方を速やかに検討する。

### 補足3

#### (2)屋内プールのあり方

環境変化の影響が少ないこと、地域住民の健康増進、スポーツ推進などの理由から効率的な維持管理を継続するなど、あり方を検討する。

また、小中学校の水泳授業の場を確保するため、新たな屋内プールの建設の必要性を議論する。

なお、あったかホールプールについては、現在小学校の水泳授業として活用していることも踏まえ、屋内プール及び学校プールの双方の考えを考慮してあり方を検討する。

#### (3)学校プールのあり方【中・長期的】

小中学校の水泳授業の場を確保するため、拠点校の必要性を含めた学校プールの再編についてあり方を検討する。なお、再編については、屋内プールの活用や新たな屋内プールの建設など、地域の実情を考慮しながら様々な可能性を検討する。

# (補足1) プールの効果

## 【1. 健康面(身体・心)】

- ・心肺機能の向上、筋持久力や柔軟性の改善、肥満防止など、全身運動として有効。
- ・関節への負担が少なく、高齢者やリハビリ患者にも適する。
- ・メンタルヘルスにも寄与し、ストレス軽減・睡眠改善などの報告あり。

## 【2. 消防水利・防災面】(参考:総務省消防庁『消防水利の基準』、文部科学省 学校施設防災活用事例)

- ・学校や公共プールは、消防水利(消火用水)として位置付けられる場合がある。
- ・災害時の生活用水やトイレ洗浄水としての代替利用も可能。
- ・取水口や貯水量の基準、衛生管理が重要。

## 【3. 社会的・経済的効果】

- ・地域交流の場として世代を超えたつながりを生む。
- ・健康維持による医療費削減、レジャー施設としての経済波及効果あり。

## 【4. 教育・安全(溺水防止)】(参考:文部科学省 学校体育指導資料『水泳編』、日本ライフセービング協会)

- ・学校教育での水泳授業は、溺水事故防止に直結。
- ・公共プールでの水辺安全講習は命を守る教育として機能。

## 【5. 環境・リスク・運営課題】(参考:厚生労働省『公衆浴場等における衛生管理指針』)

- ・都市のヒートアイランド緩和、水辺空間による快適性向上の効果あり。

## 【まとめ】

- ・健康面、社会的・経済的効果の手段としてプールは有効である。
- ・プールは、健康・防災・地域交流・レジャー・教育など多面的に効果をもたらす社会インフラである。

# (補足1) 市内プール (公共)

番号	施設名	屋外/屋内	形状	開設年度
1	陵南プール	屋外	25mプール 幼児プール	昭和49年(1974年)
2	大塚公園プール	屋外	変形プール 幼児プール	昭和62年(1987年) ※令和3年(2021年)から休止中(老朽化による)
3	あったかホールプール	屋内	25mプール 幼児プール	平成9年(1997年)
4	東浅川保健福祉センタープール	屋内	25mプール	平成3年(1991年)
5	甲の原体育館プール	屋内	25mプール 幼児プール	平成5年(1993年)

※富士森公園プール(屋外50m、25m)は、施設の老朽化や利用者減少のため平成16年(2004年)に廃止し、現在は民間に土地を貸し出し、フットサル場として活用

# (補足1) 市内プール (民間 屋内)

## 中心市街地エリア(八王子駅周辺)

1	メガロス 八王子	子安町1-16-11	営業中
2	アクラブ 八王子	散田町3-2-1	営業中
3	セントラルフィットネスクラブ 八王子	新町2-5	営業中

## 東部エリア

4	コナミスポーツクラブ 八王子	打越町2003-2	閉業(2025年3月)
---	----------------	-----------	-------------

## 北部エリア

5	バディー スイミングスクール 八王子東店	高倉町33-2	営業中
---	----------------------	---------	-----

## 南部・多摩ニュータウンエリア

6	ルネサンス 南大沢24	南大沢5-4	営業中
7	アクラブ堀之内	堀之内3-29-16	営業中

## 西部・高尾エリア

8	JSS 八王子スイミングスクール	狭間町1452-1	営業中
9	八王子スポーツクラブ	元本郷町4-20-10	閉業(2024年12月)
10	セント・ベル スイムスクール	並木町33-2	幼稚園のプール
11	スポーツクラブNAS 高尾	東浅川町550-1	営業中

# (補足1) 市内プール (大学)

八王子市内の大学でプールが設置されている大学は以下のとおりである。

番号	大学名	屋外/屋内	一般開放	備考
1	東京工科大学	屋外	無 (大会等貸出有)	50m × 8コース (日本水泳連盟公認)
2	中央大学	屋外(夏季のみ) 屋内	無 (大会等貸出有)	屋外:50m×9コース 屋内:25m×7コース
3	拓殖大学	屋内	無	25m×6コース
4	帝京大学	屋内	無 (大会等貸出有)	25m×8コース
5	東京都立大学	屋内	無	25m×6コース
6	法政大学	屋内	無 (過去に大会実績有)	50m (温水・公認プール)

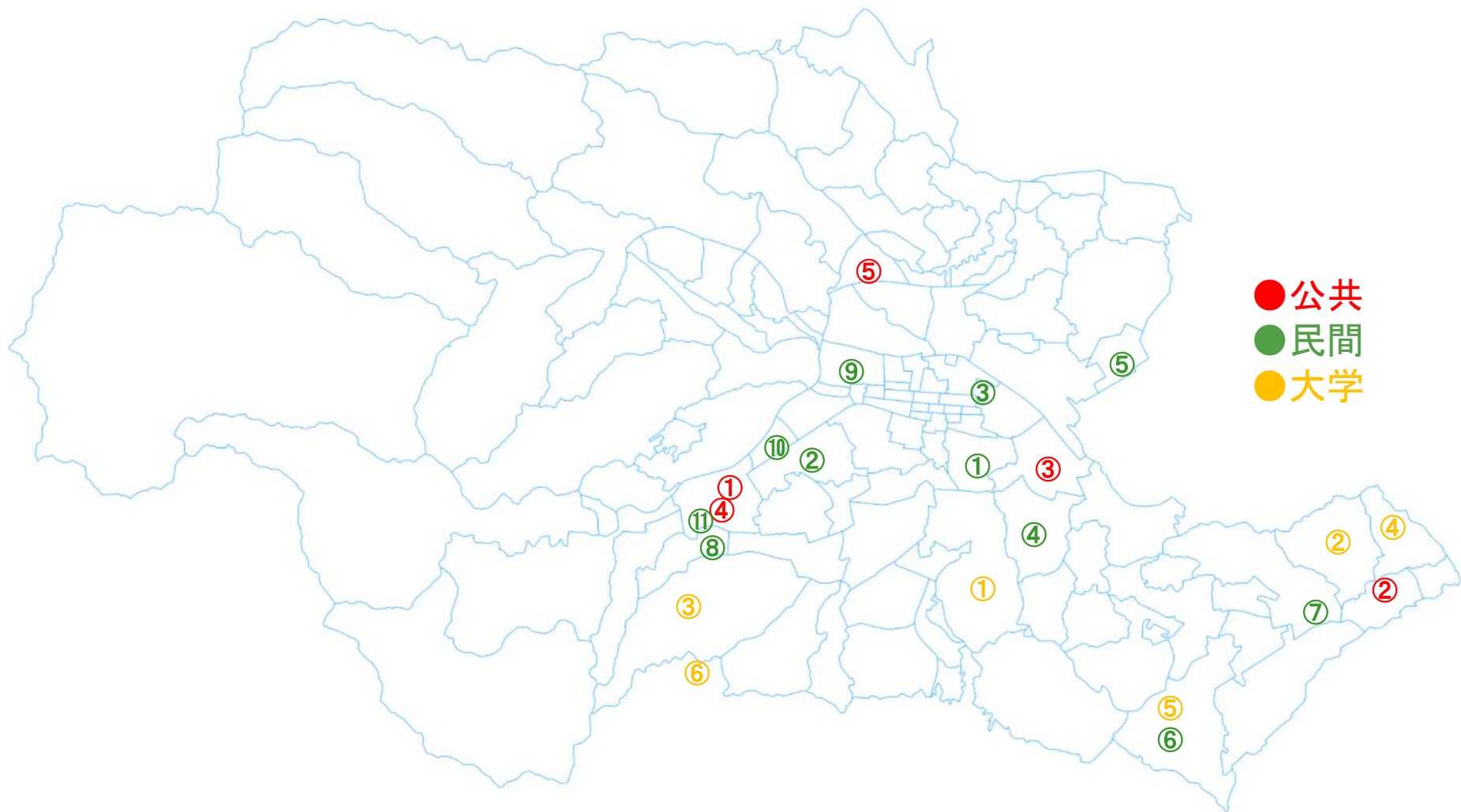


# (補足1) 市内プール (高等学校)

八王子市内の高校でプールが設置されている高校は以下のとおりである。(一般開放は無し)

公立/私立	高校名	屋外/屋内	一般開放	備考
公立	都立南多摩中等教育学校	屋外	無	25mプール
公立	都立富士森高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立片倉高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立八王子東高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立八王子北高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立松が谷高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立翔陽高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立八王子桑志高等学校	屋外	無	25mプール
公立	都立八王子拓真高等学校	屋外	無	25mプール
私立	八王子学園八王子高等学校	—	—	—
私立	八王子実践高等学校	—	—	—
私立	穎明館高等学校	屋内	無(大会等貸出有)	25mプール(温水)
私立	東京純心女子高等学校	—	—	—
私立	共立女子第二高等学校	—	—	—
私立	聖パウロ学園高等学校	—	—	—
私立	帝京八王子中学校・高等学校	—	—	—
私立	帝京大学高等学校	—	—	—
私立	工学院大学附属高等学校	屋外	無	25mプール
私立	明治大学付属八王子高等学校	屋外	無	25mプール(50mプールは老朽化のため休止中・閉鎖予定)

# (補足 1) 市内プール分布図



# (補足1) 学校プール資料

## ■学校外プール切替基準「令和5年(2023年)8月 意思決定(乙決裁)」

基準1(小規模)	児童・生徒数が概ね150名以内の学校
基準2(老朽化)	児童・生徒数が概ね300名以内かつ、施設の老朽化が顕著で、10年以内にプールの新設または大規模修繕が必要となる学校
基準3(その他)	その他学校規模によらず、学校外プールへの切り替えによるコスト削減効果が相当程度高いと見込まれる学校

## ■市立小・中学校プール利用に係る今後の方向性「令和6年(2024年)9月 意思決定(乙決裁)」

優先順位① 学校外プールの活用	学校外プール切替え基準に該当する学校については順次切替えを進める。
優先順位② 学校プールの共同利用	概ね500m以内に小中一貫教育グループ内の小・中学校があり、プール設備が利用可能な場合は、可能な限り工夫を凝らし、共同利用とする。なお、学校外プール切替え基準に該当する学校についても条件を満たす場合は対象とする。 (現在、拠点校はいずみの森義務教育学校のみであるが利用実績はない。)
優先順位③ 学校プールの修繕	学校外プール切替え基準に該当せず、共同利用も困難な場合に限り、自校のプール設備を修繕して使用する。

# (補足1) 学校プール資料

## ■令和7年(2025年)度 学校外プール利用校(小11校 中1校)

学校名	会場
第一小学校 (元横山町)	セントラルフィットネスクラブ八王子 (新町)
第二小学校 (八木町)	アクラブ八王子 (散田町)
第四中学校 (元本郷町)	アクラブ八王子 (散田町)
由木西小学校 (上柚木)	アクラブ堀之内 (堀之内)
鹿島小学校 (鹿島)	アクラブ堀之内 (堀之内)
別所小学校 (別所)	アクラブ堀之内 (堀之内)
第八小学校 (石川町)	メガロス八王子 (子安町)
川口小学校 (川口町)	メガロス八王子 (子安町)
中野北小学校 (中野山王)	あったかホール (北野町)
式分方小学校 (式分方町)	あったかホール (北野町)
美山小学校 (美山町)	あったかホール (北野町)
中山小学校 (中山)	あったかホール (北野町)

# (補足1) 学校プール資料

## ■利用継続する場合に大規模修繕が必要な学校

×:老朽化が著しい △老朽化が進行している

NO	学校名	児童生徒数	切替基準※	プール架台	ろ過機
1			その他	×	問題なし
2			その他	△	問題なし
3			その他	×	問題なし
4			その他	×	△
5			老朽化	△	問題なし
6			その他	×	問題なし
7			小規模	△	問題なし
8			その他	△	問題なし
9			その他	△	△
10			老朽化	×	問題なし
11			その他	×	問題なし
12			その他	△	問題なし
13			老朽化	△	問題なし
14			その他	△	問題なし
15			老朽化	△	問題なし
16			老朽化	△	問題なし
17			老朽化	△	問題なし
18			老朽化	△	問題なし
19			老朽化	×	×
20			小規模	×	問題なし
21			その他	△	×
22			その他	×	問題なし
23			老朽化	△	問題なし

※切替基準の詳細はスライド9を参照

## ■修繕等にかかる経費

内容	概算経費(1校あたり)
プール更新	300,000千円
ろ過機交換	16,000千円

## ■年間経費比較

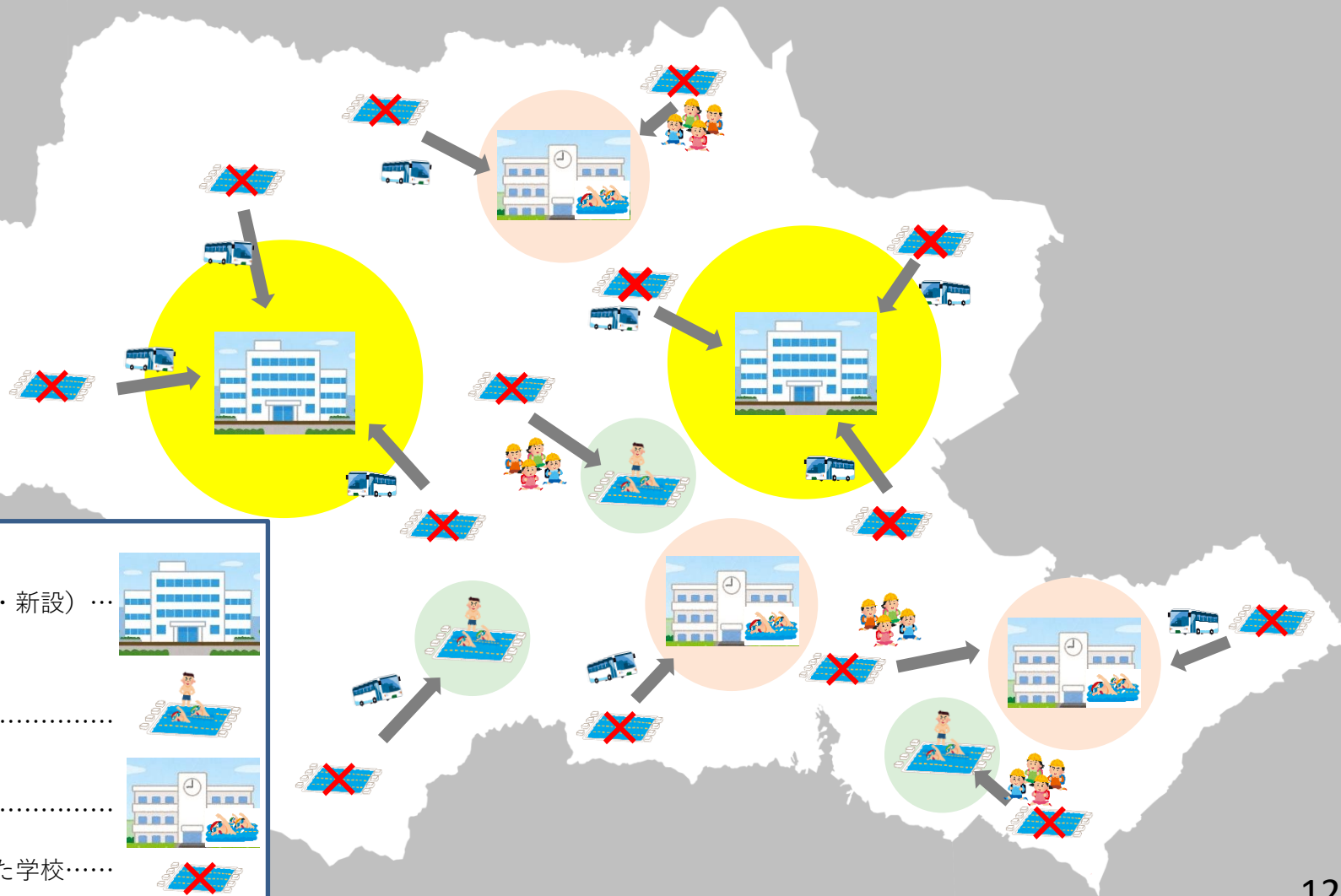
区分	年間経費	主な内訳
学校プール	約540万円	プール更新費(60年換算)・光熱水費・薬品費等
民間施設利用(バス移動)	約460万円	施設利用料・指導員・貸切バス等
民間施設利用(徒歩移動)	約240万円	施設利用料・指導員等
公共施設利用(バス移動)	約250万円	施設利用料・指導員・貸切バス等

学校外プール利用には、教員の負担軽減・児童生徒の泳力向上などメリットも多いが、送迎バスや代替プール施設の確保が困難などのデメリットもあるため、水泳指導の場の確保のために様々な方法を検討する必要がある。

小規模 : 児童・生徒数が概ね150名以内の学校  
 老朽化 : 老朽化が顕著  
 その他 : 学校外プールへの切り替えによるコスト削減効果

# (補足1) 学校プール資料

## ■イメージ図



### 【凡例】

屋内プール（既存・新設）……



民間施設……………



拠点校・共同利用……………



プールが老朽化した学校……



# (補足2) 公共プールの方向性 (SWOT分析)

## 公共プールを活用した安全安心な健康づくり

赤字:屋外プール

青字:屋内プール

### 内部環境

#### Strongs(強み)(内部のプラス要因)

- ・開放感・季節感がある
- ・建設・維持管理コストが低い(屋根・空調不要)
- ・夏季イベントや地域コミュニティ形成の場となる
- ・景観的価値や観光資源としても活用可能
- ・天候や季節に左右されず、年間を通じて利用可能水温
- ・室温を管理できるため、快適な環境を維持できる
- ・高齢者や障がい者など、多様な利用者に対応しやすい
- ・水泳教室やリハビリ、健康増進プログラムなど幅広い用途に対応
- ・屋外プールに比べ、安全管理(監視・水質管理)が安定しやすい

#### Weaknesses(弱み)(内部のマイナス要因)

- ・集客のピークが短期集中し、採算性が低い
- ・気温上昇や豪雨による中止・利用制限リスク
- ・水の蒸発・葉ごみ混入など水質管理の難しさ
- ・老朽化に伴い再整備コストが発生する
- ・建設・維持管理コストが高い(空調・除湿・水加温・電気代など)
- ・老朽化すると改修費が非常に高額
- ・夏季の需要ピークに対応できる収容力が限られる

#### 【S×O:積極戦略】

- 開放感を活かし、イベント・地域祭りなどの観光資源化。  
周辺公園・カフェ・キャンパススペースなどと連携し、滞在型施設に発展。
- ➔「住宅街にある公園内のプールなので現実的ではない」
  - ➔「猛暑、天候の影響もないので継続の方向性を基本として検討する」
  - ➔「屋外プールや学校プールの閉鎖にもなう受け入れ」
- 通年利用や健康プログラム対応という強みを活かし、高齢者・リハビリ・学校体育・健康教室などの複合利用を促進。  
悪天候や猛暑時の避難的運動施設として、地域防災計画にも位置づける。

#### 【W×O:改善戦略】

- 短期稼働・採算性の低さを補うため、季節外のスペース活用  
イベント広場として活用
- ➔「消防水利として水が入っている状態であり、プール以外に活用は難しい状態。活用できるスペースは少ない」
  - ➔「東浅川保健福祉センターのプール以外は指定管理者制度導入済み」
- デザインリニューアル(採光・内装改善)で再活性化。  
民間フィットネス事業者や指定管理者のノウハウを導入し、収益構造を多角化。

### 外部環境

#### Opportunities(機会)(外部のプラス要因)

- ・夏期限定の観光資源・イベントとしてのブランド化
- ・キッチンカーなどの複合利用で集客強化
- ・太陽光発電など屋外空間の活用余地
- ・健康志向や高齢化に伴い、水中運動・リハビリ需要が増加
- ・学校や民間フィットネスとの連携による利用拡大
- ・雨天・猛暑などの異常気象下でも利用できることの価値が向上

#### Threats(脅威)(外部のマイナス要因)

- ・猛暑・熱中症リスクの増大(気候変動の影響)
- ・夏の高温・水温上昇による衛生・快適性低下
- ・維持管理人員の確保が難しくなる(監視員不足)
- ・レジャーの多様化により、レジャープールの利用者が減少している
- ・エネルギー価格上昇による運営コスト増
- ・利用者数減少(特に若年層の水泳離れ)
- ・新型感染症などで換気・利用制限が課されるリスク

#### 【S×T:防衛戦略】

- 低コスト・簡易構造の強みを活かし、気候変動による利用減少リスク  
に対し、可動式屋根・ミスト・日除けなどで対応。  
監視員不足にはデジタル監視・自動水質管理など技術導入で対抗。
- ➔「AIを使ったデジタル監視等が開発されているが監視員のサポートといった状態である(参考 AQUAGUARD)」
  - ➔「猛暑、天候の影響もないので維持管理、運営を継続していく」
- 気候変動などの影響がないので安定稼働  
統廃合に備え、教育分野と連携

#### 【W×T:撤退・縮小戦略】

- 老朽化・熱中症リスクは、市民の健康を損なう恐れあり  
水辺公園・親水広場・防災貯水機能などへ転換。  
利用実績の低い地区では集約・統合による効率化。
- ➔「再整備コスト増や熱中症リスクもあるため、廃止も含めて存廃を検討する」
  - ➔「統廃合の検討は必要であるが屋内プールは統廃合される側となる」
- 老朽化が著しい施設は、他の公共施設(体育館など)と一体化・集約化。  
改修コストが過大な場合は、学校プールなどと統合して機能整理。利用者が減少する地域では「小規模温水プール」や「水中リハ施設」へ転換。

# (補足2) 近隣の状況 (その1)

## 令和2年(2020年)以降プールを廃止・休止した自治体

都県	市区町村	名称	廃止	休止	形態	開業年月	廃止休止理由
東京都	江東区	東京辰巳国際水泳場	令和5年(2023年)	-	屋内	平成5年(1993年)8月	施設の老朽化および新施設(東京アクアティクスセンター)への移行
	東村山市	運動公園プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和47年(1972年)	施設の老朽化・利用者減少・維持費9億円以上
	清瀬市	下宿(しもじゅく)市民プール	令和5年(2023年)	-	屋外	昭和54年(1979年)7月	施設の老朽化・利用者減少
	小平市	萩山公園プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和46年(1971年)	劣化等の調査を行った結果、プールサイドやプール水槽の床面等の劣化がひどく、安全が確保できないため
	昭島市	市民プール	-	令和5年(2023年)~	屋外	昭和49年(1974年)	老朽化・安心安全な施設運営が困難
	立川(国営)	レインボープール	令和5年(2023年)	-	屋外	昭和58年(1983年)	施設の老朽化・維持管理費の高騰
	府中	新町プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和60年(1985年)7月	施設の老朽化・猛暑対策
		小柳プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和51年(1976年)7月	施設の老朽化・猛暑対策
		白糸台プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和59年(1984年)7月	施設の老朽化・猛暑対策
		武蔵野台プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和59年(1984年)7月	施設の老朽化・猛暑対策
埼玉県	富士見市	富士見ガーデンビーチ	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和59年(1984年)6月	少子高齢化・余暇活動の多様化・気象状況の変化で利用者減・老朽化
	上尾市	さいたま水上公園	令和4年(2022年)	-	屋外	昭和46年(1971年)7月	施設の老朽化と民間活用方針による閉鎖。再整備計画あり
	新座市	大和田ファミリープール	令和4年(2022年)	-	屋外	昭和62年(1987年)	老朽化・環境の変化(宅地化が進み騒音、ポイ捨てなどの近隣住民への影響) 55日間しか営業しない。
	川口市	流水プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和54年(1979年)	施設の老朽化
	加須市	加須市民運動公園プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和52年(1977年)	施設の老朽化・利用者減少
	吉川市	吉川市 屋外市民プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和56年(1981年)7月	老朽化・故障発生のリスク
	熊谷市	熊谷さくら運動公園	令和4年(2022年)	-	屋外	昭和46年(1971年)7月	施設の老朽化
	児玉郡	神川町 B&G海洋センタープール	令和5年(2023年)	平成20年(2008年)	屋外	昭和58年(1983年)	施設の老朽化・利用者減少
さいたま市	沼影市民プール	令和6年(2024年) 令和7年(2025年)	-	屋外 屋内	昭和46年(1971年) /昭和56年(1981年)	同所へ義務教育学校を新設するため	



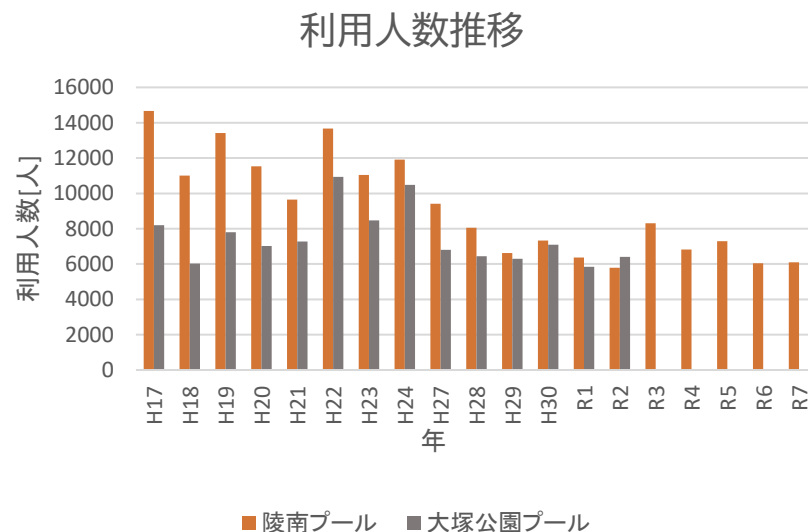
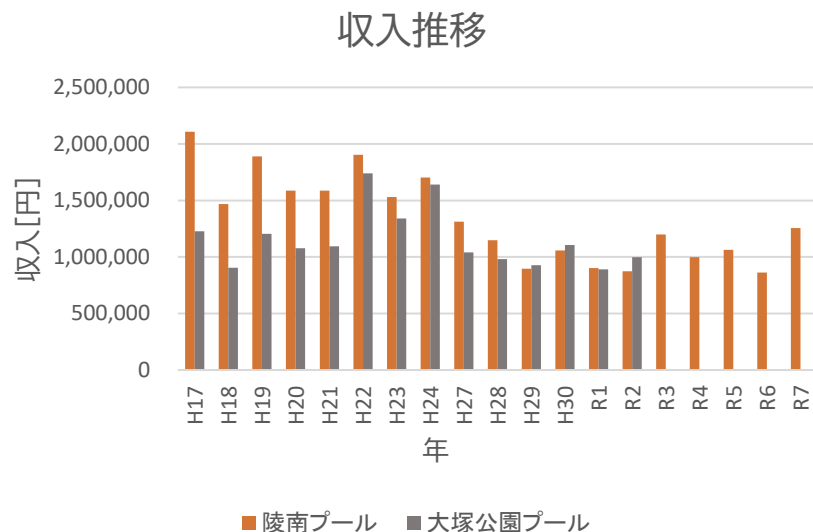
# (補足2) 近隣の状況 (その2)

## ■令和2年(2020年)以降プールを廃止・休止した自治体

都県	市区町村	名称	廃止	休止	形態	開業年月	廃止休止理由
神奈川県	二宮町	二宮町民温水プール	令和6年(2024年)	-	屋内	平成6年(1994年)	
		根岸公園水泳プール	令和7年(2025年)	-	屋内	昭和41年(1966年)7月	設備等の老朽化が著しい、多額の維持管理費を要する、年少人口の減少見込み等
	横須賀市	第2公園水泳プール	令和7年(2025年)	-	屋外	昭和32年(1957年)	設備等の老朽化が著しい、多額の維持管理費を要する、年少人口の減少見込み等
		富浦公園水泳プール	令和6年(2024年)	-	屋外	昭和45年(1970年)	設備等の老朽化が著しい、多額の維持管理費を要する、年少人口の減少見込み等
	横浜	横浜国際プール	令和7年(2025年)	-	屋外	平成10年(1998年)7月	施設の再整備
千葉県	野田市	総合公園水泳場	-	令和2年(2020年)	屋外	昭和55年(1980年)8月	施設の老朽化・費用対効果の観点から
	館山市	市営25m室内温水プール	令和6年(2024年)	-	屋内	昭和45年(1970年)	施設全体の老朽化が著しく、施設管理が難しくなったため
	袖ヶ浦市	臨海スポーツセンター プール	令和4年(2022年)	-	屋内	昭和54年(1979年)	安全性が確保できない、現在の仕様(50M)の必要性、健康づくり支援センターや民間施設における、代替可能性、また、施設の老朽化の状況や 見込まれる修繕費用等を総合的に勘案等総合的に勘案
	君津市	内みのわ運動公園 市民プール	令和2年(2020年)	-	屋外	昭和49年(1974年)	施設の老朽化(原因不明の漏水が発生し、通常の水位を維持できなくなったこと、流水プール槽底面に起伏が見受けられ、お客様の安全を確保することが困難となったこと)

# (補足2) 八王子市屋外プール資料

## ■八王子市屋外プールの収入と利用者数の推移



※大塚公園プールが休止となった令和3年(2021年)度に陵南プールの利用人数が増加したが、令和4年(2022年)度以降は6,000人程度で落ち着いている。

⇒屋外プールは収入・利用人数ともに減少傾向



# (補足3) 公共プールの方向性 (SWOT分析)

## 公共プールを活用した 安全安心な健康づくり

赤字:屋外プール  
青字:屋内プール

### 内部環境

#### Strongs(強み)(内部のプラス要因)

- ・開放感・季節感がある
- ・建設・維持管理コストが低い(屋根・空調不要)
- ・夏季イベントや地域コミュニティ形成の場となる
- ・景観的価値や観光資源としても活用可能
- ・天候や季節に左右されず、年間を通じて利用可能水温
- ・室温を管理できるため、快適な環境を維持できる
- ・高齢者や障がい者など、多様な利用者に対応しやすい
- ・水泳教室やリハビリ、健康増進プログラムなど幅広い用途に対応
- ・屋外プールに比べ、安全管理(監視・水質管理)が安定しやすい

#### Weaknesses(弱み)(内部のマイナス要因)

- ・集客のピークが短期集中し、採算性が低い
- ・気温上昇や豪雨による中止・利用制限リスク
- ・水の蒸発・葉ごみ混入など水質管理の難しさ
- ・老朽化に伴い再整備コストが発生する
- ・建設・維持管理コストが高い(空調・除湿・水加温・電気代など)
- ・老朽化すると改修費が非常に高額
- ・夏季の需要ピークに対応できる収容力が限られる

#### 【S×O:積極戦略】

- 開放感を活かし、イベント・地域祭りなどの観光資源化。  
周辺公園・カフェ・キャンパススペースなどと連携し、滞在型施設に発展。
- ▶「住宅街にある公園内のプールなので現実的ではない」  
通年利用や健康プログラム対応という強みを活かし、高齢者・リハビリ・学校体育・健康教室などの複合利用を促進。
  - 悪天候や猛暑時の避難的運動施設として、地域防災計画にも位置づける。
  - ▶「猛暑、天候の影響もないので継続の方向性を基本として検討する」
  - ▶「屋外プールや学校プールの閉鎖にもなう受け入れ」

#### 【W×O:改善戦略】

- 短期稼働・採算性の低さを補うため、季節外のスペース活用  
イベント広場として活用
- ▶「消防水利として水が入っている状態であり、プール以外に活用は難しい状態。活用できるスペースは少ない」
  - デザインリニューアル(採光・内装改善)で再活性化。  
民間フィットネス事業者や指定管理者のノウハウを導入し、収益構造を多角化。
  - ▶「東浅川保健福祉センターのプール以外は指定管理者制度導入済み」

#### 【S×T:防衛戦略】

- 低コスト・簡易構造の強みを活かし、気候変動による利用減少リスク  
に対し、可動式屋根・ミスト・日除けなどで対応。
- 監視員不足にはデジタル監視・自動水質管理など技術導入で対抗。
  - ▶「AIを使ったデジタル監視等が開発されているが監視員のサポートといった状態である。(参考 AQUAGUARD)」
  - 気候変動などの影響がないので安定稼働
  - 統廃合に備え、教育分野と連携
  - ▶「猛暑、天候の影響もないので維持管理、運営を継続していく」

#### 【W×T:撤退・縮小戦略】

- 老朽化・熱中症リスクは、市民の健康を損なう恐れあり  
水辺公園・親水広場・防災貯水機能などへ転換。
- 利用実績の低い地区では集約・統合による効率化。
  - ▶「再整備コスト増や熱中症リスクもあるため、廃止も含めて存廃を検討する」
  - 老朽化が著しい施設は、他の公共施設(体育館など)と一体化・集約化。  
改修コストが過大な場合は、学校プールなどと統合して機能整理。利用者が減少する地域では「小規模温水プール」や「水中リハ施設」へ転換。
  - ▶「統廃合の検討は必要であるが屋内プールは統廃合される側となる」

#### Opportunities(機会)(外部のプラス要因)

- ・夏季限定の観光資源・イベントとしてのブランド化
- ・キッチンカーなどの複合利用で集客強化
- ・太陽光発電など屋外空間の活用余地
- ・健康志向や高齢化に伴い、水中運動・リハビリ需要が増加
- ・学校や民間フィットネスとの連携による利用拡大
- ・雨天・猛暑などの異常気象下でも利用できることの価値が向上

#### Threats(脅威)(外部のマイナス要因)

- ・猛暑・熱中症リスクの増大(気候変動の影響)
- ・夏の高温・水温上昇による衛生・快適性低下
- ・維持管理人員の確保が難しくなる(監視員不足)
- ・レジャーの多様化により、レジャープールの利用者が減少している
- ・エネルギー価格上昇による運営コスト増
- ・利用者数減少(特に若年層の水泳離れ)
- ・新型感染症などで換気・利用制限が課されるリスク

### 外部環境

## (補足3) 屋内プール設置目的

### ■東浅川保健福祉センター

高齢者及び心身障害者の健康の増進及び教養の向上に寄与し、併せて広く市民の健康及び福祉の増進を図るとともに、市民のスポーツ及びレクリエーションの振興並びに市民相互の親睦を図る。

### ■甲の原体育館

市民の体育並びにスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もつて、心身の健全な育成に寄与する。

### ■あったかホール

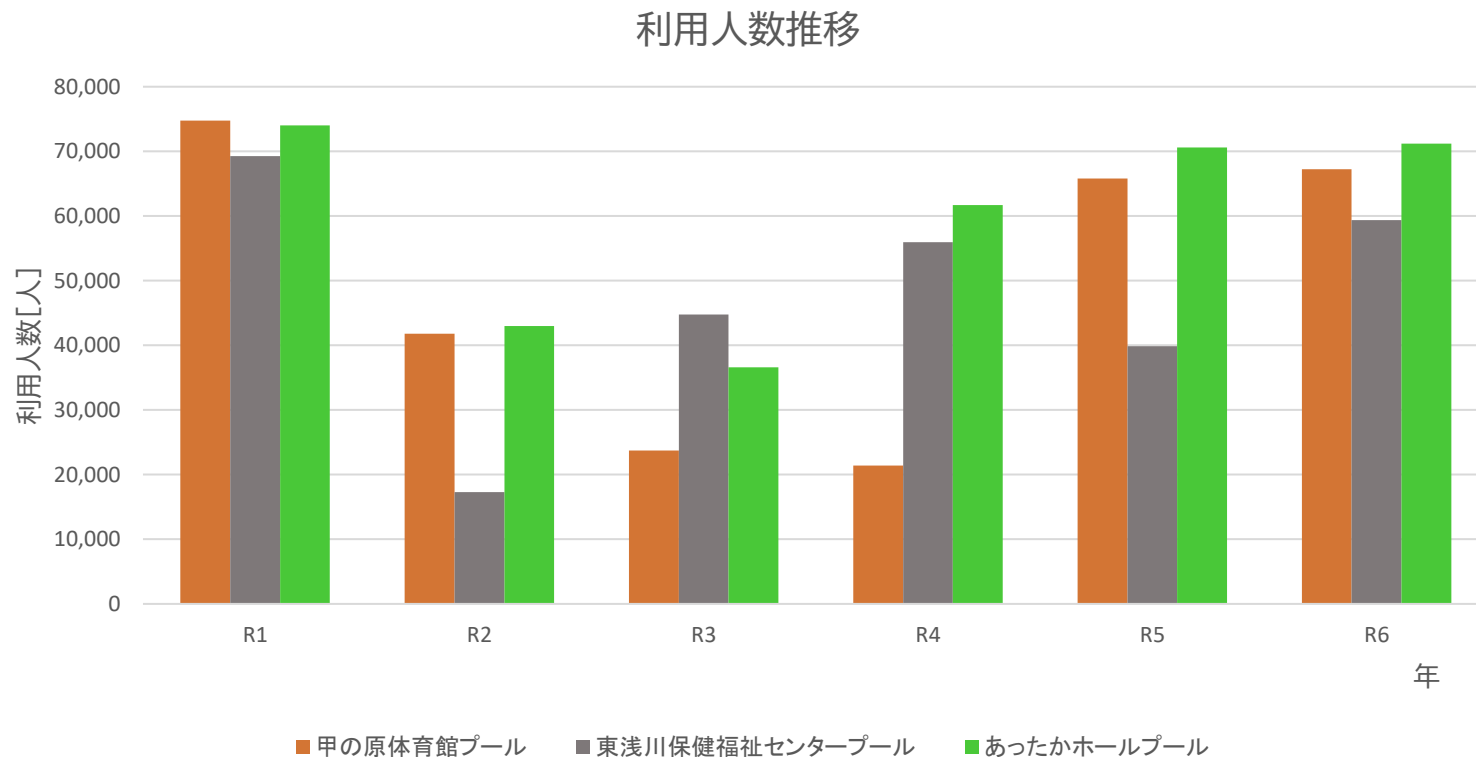
市民にごみ減量を啓発し、リサイクル文化の創造に寄与するとともに、環境学習の場及び市民相互の親睦の場を提供する。

屋内プールの設置目的は「健康の増進」「教養の向上」「福祉の増進」「スポーツ振興」「レクリエーション振興」「心身の健全な育成」「親睦の場」と多岐にわたり、市民に与える影響は大きい。

また、屋内プールの特徴は以下の通りである。

- ・屋内プールは、年間を通して運営できること
- ・屋外プールの利用者を受け入れられること
- ・小中学校の授業を受け入れられること
- ・災害時のマンホールトイレの用水として利用できること

## ■八王子市屋内プールの利用者数の推移



- ・甲の原体育館プール:令和3年(2021年)と令和4年(2022年)の利用人数が減少しているのは大規模改修のため
- ・東浅川保健福祉センター:令和2年(2020年)は改修工事とコロナの影響で利用者数が減少